

# 私のイメージする家庭医療

金沢大学5年

額 裕海

# Wikipediaで調べた家庭医療

- 家庭医療は、疾病臓器・患者の性別・年齢・その他医学的技能の専門性にとらわれず、患者ならびに地域住民の健康問題を幅広く担当する医療分野。

英語ではfamily practice

家庭医(family physician)

家庭医療学(family medicine)

# みんなのイメージする家庭医療って？

- 薬局で薬を買って使用したり、健康的な食事を心がけたりするといったもの。
- こどもの頃からかかっている開業医のようなイメージ。

身近にあるもの。生活に密着しているもの。  
というイメージも持っている。

私の考える家庭医療のイメージ

「生活に密着」

「総合診療」

「全人的医療」

# 「生活に密着」

- 患者さんにとって身近にある存在であること。
- 治療だけに関わらず、その地域の予防医療などにも関わる存在であること。
- 疾患に対するケアだけでなく、患者さんがその疾患によって受ける生活への影響などに関しても相談にのれるような存在であること。

# 「総合診療」

- 専門の科だけにとらわれるのではなく、全身を診ることができる。
- commonな疾患の診断はもちろんであるが、rareな疾患が疑われる場合には専門医にコンサルトすることができる。
- 緊急時の初期対応を身につけていて、個人で対応できない場合には、それ相応の救急医療を提供できる所に引き継ぐことができる。

# 「全人的医療」

- 患者の精神面のこと、生活のことなど、病気だけを診るのではなく、その人を包括的に診ることができる。